

「夢快道」大船渡三陸道路が開通！

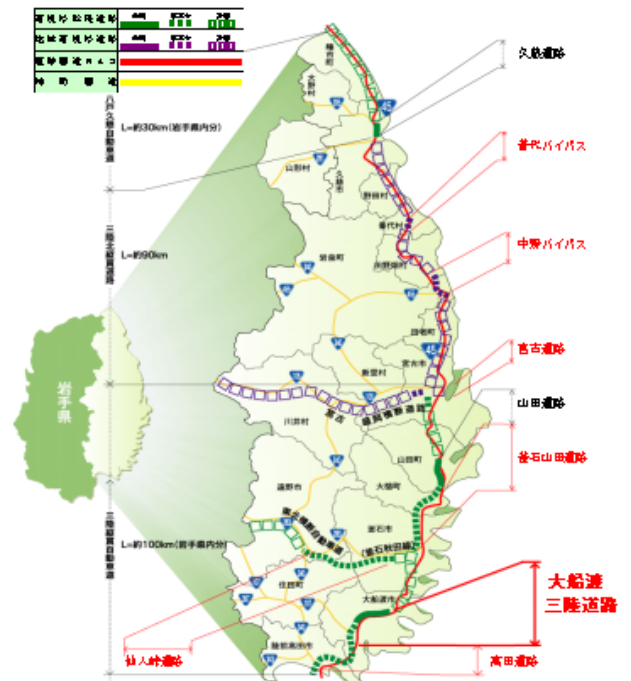
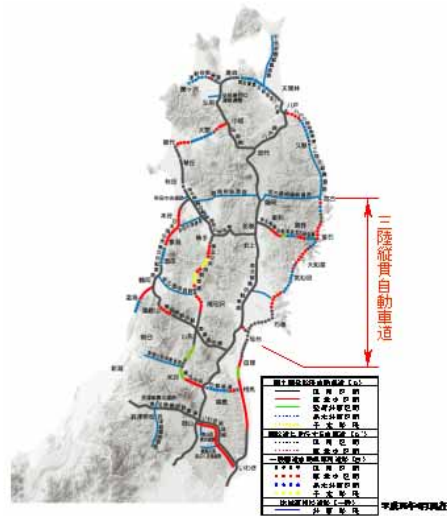
去る3月19日(土)、快晴のもと、増田知事をはじめ、黄川田徹衆議院議員、森永東北地方整備局長、橋本県土整備部長といった方々の出席のもと、三陸縦貫自動車道「大船渡三陸道路」の開通式典が挙行されました。

1. 「三陸縦貫自動車道」とは・・・

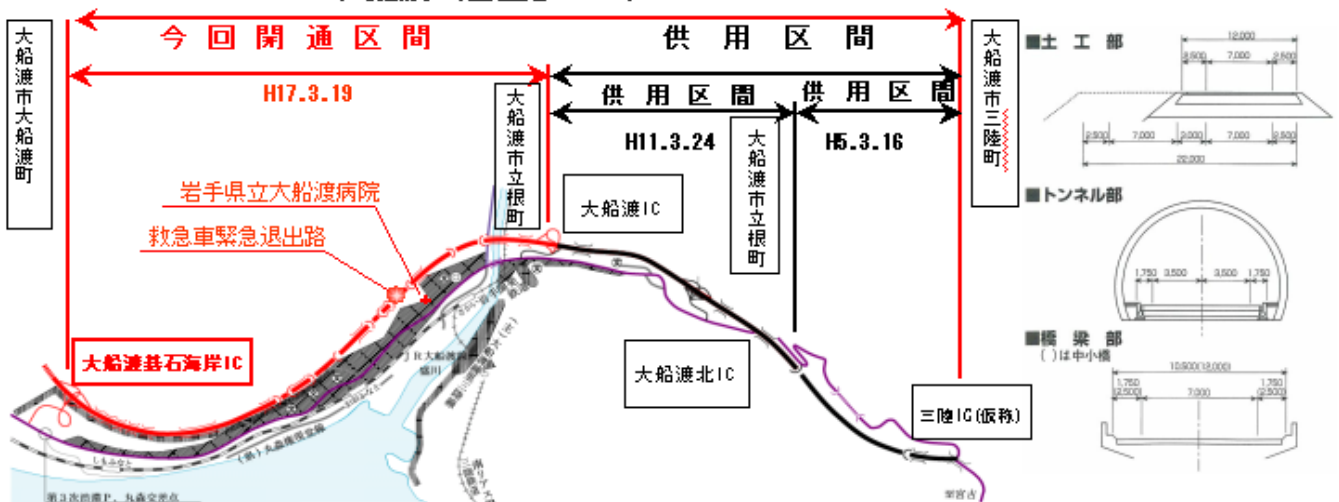
「三陸縦貫自動車道」は宮城県仙台市と岩手県宮古市を結ぶ延長約220kmの自動車専用道路で、昭和62年度に閣議決定された第四次全国総合開発計画の中で位置付けられた14,000kmの高規格幹線道路網のうち、一般国道の自動車専用道路(B路線)として整備予定の2,480kmを構成する道路です。

2. 「三陸縦貫自動車道」とは・・・

開通した「大船渡三陸道路」は昭和58年度に事業化され、これまでに新三陸トンネルを含む8.7kmが平成5年、11年に供用されており、今回、残る8.6kmが開通したものです。この間、投資された事業費が約800億円。この開通により、三陸縦貫自動車道の本県分約102kmのうち、平成14年に供用開始された「山田道路7.8km」と併せ、約25kmが供用されることとなりました。また、今回の供用に併せ、これまで仮称であった大船渡南ICは新たに大船渡碓石海岸ICに正式決定されました。



大船渡三陸道路 L=17,300m



3. 「開通式典」

開通式典では来賓の方々の祝辞が披露され、最後には増田知事や橋本県土整備部長などによるテープカット、くす玉開披が行われました。その後、地元の「長安寺太鼓」の勇壮な演奏の中、パレードがスタートし、途中では「救急車緊急退出路」の使用開始式も現地で行われ、実際に救急車が退出路を利用するデモンストレーションもありました。

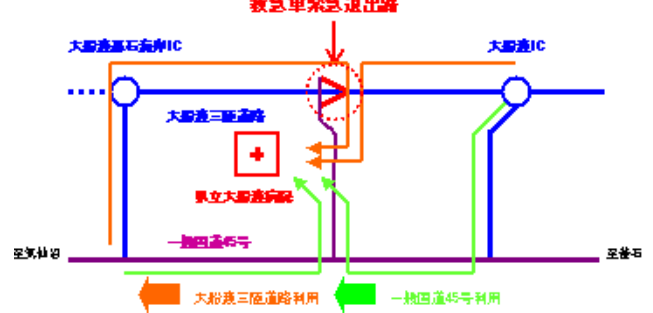


4. 開通後の主な整備効果

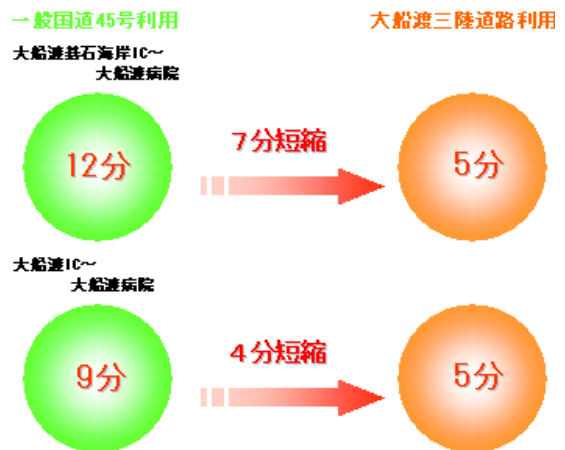
(1) 「救急車緊急退出路」利用による救命率向上！

この「救急車緊急退出路」は、東北では、山形自動車道、青森自動車道に次いで3箇所目となり、国土交通省直轄道路では全国初となるものです。この整備により、県立大船渡病院への患者搬送時間が短縮し、救急医療圏域の拡大が図られ、患者の救命率の向上に大きく貢献するものと期待されています。

▼救急車緊急退出路利用時と現道利用時の時間比較



救急車緊急退出路利用により最大7分時間短縮！！

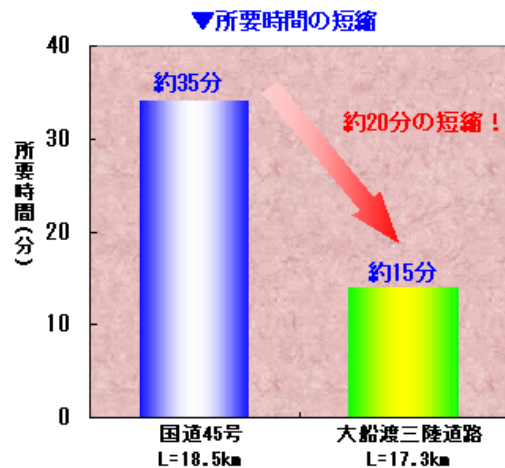


(2) 「70 km/h 供用」による時間短縮！

「大船渡三陸道路」は本県の「三陸縦貫自動車道」では初めて70 km/h 供用が実施されます。このことにより沿岸部においても、いよいよ高速交通がスタートすることとなり、走行時間の短縮に伴い、観光面や物流面で大きな効果が期待されています。

その他、移動時間の短縮や市街地での渋滞緩和により自動車排気ガス排出量が大幅に削減されるなど、沿道環境の改善が図られるといった効果が期待されます。

大船渡基石海岸IC～三陸IC(仮称)間の所要時間が約20分短縮！！



※国道45号の所要時間はH11交通センサスピーク旅行速度、大船渡三陸道路は最高速度の70km/hを用いて算出。

担当：道路建設課
参考資料：国土交通省三陸国道事務所